



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 東 大 名

上場会社名 日本ペイント株式会社

コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 上岡 晃

TEL 06-6455-9141

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	51,692	△9.2	1,883	△55.6	2,666	△52.2	1,178	△66.8
23年3月期第1四半期	56,905	15.5	4,237	—	5,572	—	3,545	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,159百万円 (19.7%) 23年3月期第1四半期 2,639百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.45	—
23年3月期第1四半期	13.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	264,319	138,643	48.9
23年3月期	265,905	136,610	47.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 129,172百万円 23年3月期 127,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	106,000	△7.9	4,500	△51.1	6,500	△41.5	3,100	△56.9	11.70
通期	229,000	0.7	16,000	0.2	21,000	4.0	13,200	△8.0	49.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	265,402,443 株	23年3月期	265,402,443 株
24年3月期1Q	674,462 株	23年3月期	664,536 株
24年3月期1Q	264,731,260 株	23年3月期1Q	264,883,127 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、3月に発生した東日本大震災により国内顧客の生産活動が停滞した影響を受け、連結売上高は前第1四半期連結累計期間（以下「前年同期」）と比較して52.1億円減少し、516億92百万円（前年同期比9.2%減）となりました。連結営業利益は、世界的な原材料価格上昇に加え、国内売上高の大幅な減少に伴う売上総利益の減少により、前年同期と比較して23.5億円減少し、18億83百万円（前年同期比55.6%減）となりました。また、連結経常利益については、持分法投資利益が原材料価格上昇の影響を受け減少したことなどにより前年同期と比較して29.1億円減少し、26億66百万円（前年同期比52.2%減）となり、連結四半期純利益は、前年同期と比較して23.7億円減少し、11億78百万円（前年同期比66.8%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第1四半期連結累計期間の対象期間は平成23年1～3月となります。

《日本》

当地域では、震災の影響により国内の経済活動は低迷しました。国内の塗料需要についても、出荷数量・金額ともに前年同期を下回りました。

このような状況のもと、自動車用塗料については、自動車生産台数が大幅に減少したことから、売上高は前年同期と比較して34.7億円減少となりました。

汎用塗料についても、震災の影響により、原材料の調達難による供給の遅れや塗装工事の一部に遅れが出たことなどから、売上高は前年同期と比較して17.6億円減少となりました。

工業用塗料は、震災の復興活動に伴い、建設資材向け塗料などの出荷が増加したことなどから、売上高は前年同期と比較して5.6億円増加となりました。

ファインケミカル事業では、表面処理剤分野において自動車メーカー向けの売上高が大幅に減少したことなどから、売上高は前年同期と比較して1.2億円減少となりました。

利益面では、売上高が大幅に減少したことに加え原材料価格が上昇したことにより、営業利益は前年同期を大幅に下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して52.8億円減少し、385億81百万円（前年同期比12.0%減）、営業利益は、前年同期と比較して20.9億円減少し、15億87百万円（前年同期比56.9%減）となりました。

《アジア》

当地域では、中国では自動車生産台数の伸び率がやや鈍化したものの設備投資や建設投資が高水準で推移し内需の拡大傾向が見られたほか、タイでは自動車を中心に輸出が好調に推移するなど、景気の回復傾向が見られました。

総額連結事業については、タイでは自動車生産台数が増加したことにより自動車用塗料の売上高が前年同期を大幅に上回ったほか、中国を中心に展開している自動車向けプラスチック用塗料事業についても売上高は好調に推移しました。一方、船舶用塗料分野では、価格競争が激化したほか為替の影響もあり、売上高が大幅に減少しました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受けたことから、当地域セグメントの営業利益は前年同期を大幅に下回りました。

持分法適用関連会社事業については、中国では自動車生産台数が増加したことを背景に自動車用ボディ鋼板用塗料の売上高が前年同期を上回るとともに、建物の内装用を中心とする汎用塗料についても売上高が前年同期を上回ったほか、その他のアジア地域における売上高も好調に推移しました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受けたほか、前年同期には税効果会計等による一時的要因の利益などを計上していたこともあり、持分法投資利益は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して2.4億円増加し、85億17

百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は、前年同期と比較して2.3億円減少し、4億99百万円（前年同期比31.3%減）、持分法投資利益は、前年同期と比較して8.1億円減少し、9億25百万円（前年同期比46.6%減）となりました。

《北米》

当地域では、個人消費にややかげりが見られたものの、緩やかな景気回復の傾向が見られました。

当社は当地域において自動車塗料事業を展開していますが、当地域における自動車生産台数は増加したものの、為替の影響により売上高は前年同期を下回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受け、営業損失は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して1.6億円減少し、39億37百万円（前年同期比3.8%減）、営業損失は、前年同期と比較して0.3億円増加し、1億3百万円（前年同期は75百万円の営業損失）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は前年同期と比較して0.2億円減少し、6億55百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失は、前年同期と比較して0.2億円減少し、8百万円（前年同期は29百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して15.9億円減少し、2,643億19百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては前連結会計年度末と比較して22.0億円減少しておりますが、その主な要因は、法人税や配当金の支払いなどにより現金及び預金が減少したことなどによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して6.2億円増加しておりますが、その主な要因は、持分法投資利益の計上により投資有価証券が増加したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して36.2億円減少し、1,256億75百万円となりましたが、その主な要因は、仕入債務の減少などによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して20.3億円増加し、1,386億43百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定や少数株主持分が増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の47.9%から48.9%へ上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年6月23日発表の通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,346	24,702
受取手形及び売掛金	72,591	73,075
たな卸資産	26,108	26,049
繰延税金資産	3,102	3,091
その他	3,974	4,838
貸倒引当金	△700	△536
流動資産合計	133,422	131,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,052	28,763
その他(純額)	34,870	34,648
有形固定資産合計	63,923	63,411
無形固定資産		
のれん	12,180	12,037
その他	4,716	4,711
無形固定資産合計	16,897	16,749
投資その他の資産		
投資有価証券	45,048	46,787
繰延税金資産	3,282	3,143
その他	3,917	3,511
投資損失引当金	△35	△35
貸倒引当金	△551	△469
投資その他の資産合計	51,662	52,937
固定資産合計	132,482	133,097
資産合計	265,905	264,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,898	49,604
短期借入金	31,125	32,070
リース債務	249	250
未払法人税等	2,137	1,047
繰延税金負債	4	9
災害損失引当金	1,300	1,053
その他	12,457	11,205
流動負債合計	99,174	95,241
固定負債		
長期借入金	14,488	14,418
リース債務	502	714
繰延税金負債	1,543	1,573
退職給付引当金	8,434	8,841
役員退職慰労引当金	239	218
環境対策引当金	321	321
関係会社事業損失引当金	7	7
製品保証引当金	597	597
その他	3,985	3,739
固定負債合計	30,120	30,433
負債合計	129,295	125,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	85,017	85,139
自己株式	△314	△320
株主資本合計	139,603	139,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	188
繰延ヘッジ損益	△5	△4
為替換算調整勘定	△12,153	△10,730
その他の包括利益累計額合計	△12,155	△10,546
少数株主持分	9,162	9,470
純資産合計	136,610	138,643
負債純資産合計	265,905	264,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	56,905	51,692
売上原価	37,900	35,750
売上総利益	19,005	15,942
販売費及び一般管理費	14,767	14,059
営業利益	4,237	1,883
営業外収益		
受取利息	18	9
受取配当金	171	181
持分法による投資利益	1,734	924
その他	194	189
営業外収益合計	2,119	1,304
営業外費用		
支払利息	191	147
為替差損	336	177
その他	257	196
営業外費用合計	785	522
経常利益	5,572	2,666
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	2	1
貸倒引当金戻入額	27	—
その他	—	0
特別利益合計	33	3
特別損失		
固定資産除売却損	131	23
減損損失	49	—
投資有価証券評価損	—	420
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	78	—
その他	48	3
特別損失合計	308	446
税金等調整前四半期純利益	5,296	2,223
法人税等	1,447	823
少数株主損益調整前四半期純利益	3,848	1,399
少数株主利益	302	220
四半期純利益	3,545	1,178

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,848	1,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,032	177
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	419	649
持分法適用会社に対する持分相当額	404	930
その他の包括利益合計	△1,209	1,760
四半期包括利益	2,639	3,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,184	2,787
少数株主に係る四半期包括利益	455	371

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	43,864	8,274	4,094	56,233	672	56,905
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,642	490	111	3,245	80	3,325
計	46,506	8,764	4,206	59,478	752	60,231
セグメント利益又は損失(△)	3,680	727	△75	4,333	△29	4,303
持分法投資利益	1	1,733	—	1,734	—	1,734

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	4,333
「その他」の区分の利益	△29
セグメント間取引消去その他の調整額	△65
四半期連結損益計算書の営業利益	4,237

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては49百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
塗料	53,468	—
自動車用	18,418	—
汎用	10,757	—
工業用	10,097	—
その他塗料	14,195	—
ファインケミカル	3,437	—
合計	56,905	—

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	38,581	8,517	3,937	51,037	655	51,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,270	338	53	2,662	141	2,803
計	40,852	8,856	3,991	53,700	796	54,496
セグメント利益又は損失(△)	1,587	499	△103	1,983	△8	1,975
持分法投資利益	△1	925	—	924	—	924

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,983
「その他」の区分の利益	△8
セグメント間取引消去その他の調整額	△91
四半期連結損益計算書の営業利益	1,883

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
塗料	48,371	△9.5
自動車用	15,372	△16.5
汎用	9,030	△16.1
工業用	10,704	6.0
その他塗料	13,264	△6.6
ファインケミカル	3,321	△3.4
合計	51,692	△9.2

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。